



第3回 スポーツ文化ツーリズム

シンポジウム

スポーツ文化ツーリズムアワード2018表彰式

日時：2019年1月24日(木) 13:00～18:20(開場:12:30～)

会場：羽田空港 第一旅客ターミナルビル6階 ギャラクシーホール

定員：シンポジウム200名、ワークショップ30名〈入場料無料、申込み先着順〉

※お申込みは、裏面をご確認ください。

※シンポジウムのスケジュール・登壇者は変更となる場合がございます。

表彰式・トークセッション

「スポーツ文化ツーリズムアワード2018」表彰式を開催します。

表彰の後、三庁の長官がトークセッションを行います。

「スポーツ文化ツーリズムアワード2018」は、スポーツ文化ツーリズムの優れた取組と今後有望な取組の発掘のため、マイスター部門、チャレンジ部門の2部門で発表・表彰いたします。三庁長官のトークセッションでは、「インバウンド活性化のために“スポーツ文化ツーリズム”が担う役割」について語り合います。

プレゼンター



スポーツ庁長官 鈴木 大地

プレゼンター



文化庁長官 宮田 亮平

プレゼンター



観光庁長官 田端 浩

基調講演

スポーツ文化ツーリズム×インバウンド

地域のインバウンドを活性化するためには何が必要か

3名の有識者が基調講演を行います。

- ①トリップアドバイザーで見る インバウンドの現状と対策 — 牧野 友衛 氏
- ②インバウンド最前線 ～やってはいけない 5つのNGから地域におけるインバウンド戦略を学ぶ～ — 村山 慶輔 氏
- ③2017年外国人宿泊者数伸び率No.1 大分県の取り組み — 二宮 謙児 氏



トリップアドバイザー株式会社
代表取締役
牧野 友衛 氏



株式会社やまごころ代表取締役・
インバウンド戦略アドバイザー
村山 慶輔 氏



インバウンド推進協議会OITA会長・
有限会社山城屋代表
二宮 謙児 氏

ワークショップ

「インバウンド効果を上げる」「継続性を高める」ためには…

「インバウンド効果を上げる」「継続性を高める」ためには何が必要か。アワード2018チャレンジ部門に入賞した事例をもとに、参加者の方々が、グループワークを通して、「スポーツ文化ツーリズムで地域を活性化させる」ヒントを得ること、また、事例がより魅力的になるアイデアが生まれることを目指し、ワークショップを行います。

※ワークショップは、事前申し込み制で先着30名のみ参加できます。

※ワークショップの資料は、事前にメールにて送付いたします。グループ分けは当日行います。



【講師】

山下 真輝氏 / 株式会社JTB総合研究所 コンサルティング事業部
コンサルティング第五部長 主席研究員

1993年株式会社JTB入社、2008年2月に九州本社地域活性化事業推進室長、その後旅行マーケティング戦略部地域交流ビジネス推進室観光立国推進担当マネージャーとして、観光庁他露関対応チームとして活動。観光庁における観光立国に関わる各種委員会に参画し、且つ全国自治体と連携し、観光による地域活性化のサポート、訪日インバウンド事業戦略策定、新成長戦略策定、東北復興支援、農林水産業における6次産業化支援などに携わっている。内閣府地域活性化伝導師等、国や地方自治体の各種委員を歴任。

主催



■ プログラム

13:00	開会挨拶	
13:10	第3回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム ～アワード2018表彰式～ ～3庁長官によるトークセッション～	・スポーツ庁長官 鈴木 大地 ・文化庁長官 宮田 亮平 ・観光庁長官 田端 浩 ・入賞団体代表者 ・トークセッションコーディネーター 原田 宗彦 氏/早稲田大学スポーツ科学学術院教授
14:15	休憩	
14:25	～基調講演～ ①トリップアドバイザーで見るインパウンドの現状と対策 ②インパウンド最前線 ～やってはいけない 5つのNGから地域におけるインパウンド戦略を学ぶ～ ③2017年外国人宿泊者数伸び率No.1 大分県の取り組み	・牧野 友衛 氏 トリップアドバイザー株式会社 代表取締役 ・村山 慶輔 氏 株式会社やまごころ代表取締役・インパウンド戦略アドバイザー ・二宮 謙児 氏 インパウンド推進協議会OITA会長・有限会社山城屋代表
16:05	休憩	
16:20	～ワークショップ～ 「インパウンド効果を上げる」「継続性を高める」ためには…	・講師：山下 真輝氏
18:20	閉会	

■ 登壇者プロフィール

〔基調講演〕

牧野 友衛 氏 / トリップアドバイザー株式会社 代表取締役

1973年生まれ、東京都出身。2016年9月1日付けでトリップアドバイザー株式会社の代表取締役役に就任。トリップアドバイザーに入社する以前は、AOLジャパン株式会社にサービス開発、及びビジネス開発業務を担当した後、2003年から、グーグル株式会社にて、ビジネス開発担当としてGoogleやYouTubeの新規プロダクトの国内展開や開発を担当。2011年にTwitter Japanに入社後、国内での利用者拡大の責任者として事業戦略の立案と実施を担った。2014年より総務省が主幹でICT（情報通信技術）分野への挑戦者を支援するプログラム「Innovationプログラム」のアドバイザーも務める。2018年度東京の観光振興を考える有識者会議の委員。

村山 慶輔 氏 / 株式会社やまごころ代表取締役・インパウンド戦略アドバイザー

神戸市出身。米国のウィスコンシン大学マディソン校卒。大学卒業後、インドにて半年間のインターンシップを経て、アクセンチュアに入社。地域活性化プロジェクト、グローバルマーケティング戦略等の様々なプロジェクトに従事。2006年同社を退社。2007年にインパウンド観光に特化したBtoBサイト「やまごころ.jp」を立ち上げ、企業・自治体向けに情報発信、教育・研修、コンサルティングサービスなどを提供する。インパウンドビジネスの専門家として国内外各種メディアへ出演多数。2018年10月に自身6冊目となる新刊「地方創生のためのインパウンド対応実践講座」（きんざい）を上梓。

二宮 謙児 氏 / インパウンド推進協議会OITA会長・有限会社山城屋代表

1961年大分県生まれ。2003年、地域活性化会議「石畳浪漫プロジェクト」に取り組む。07年には町おこしイベント「ツール・ド・湯平サイクリング大会」を企画、実行委員長として韓国、台湾と自転車大会を通じた国際交流を行う。経営する山城屋は、外国人客の受け入れを進めて、客室稼働率はほぼ100%を達成。2015年「九州未来アワード」で審査員特別奨励賞受賞。トリップアドバイザー「日本の旅館部門2017」で満足度全国3位（九州では1位）にランクイン。著書に「山奥の小さな旅館が連日外国人客で満室になる理由」。地元でインパウンドを推進する同志らと「インパウンド推進協議会OITA」を2018年3月に立ち上げ。



〔トークセッションコーディネーター〕

原田 宗彦 氏 /

早稲田大学スポーツ科学学術院教授
一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 会長

1954年大阪生まれ。ペンシルバニア州立大学健康・体育・レクリエーション学部博士課程修了（Ph.D.）。鹿屋体育大学助手、フルブライト上級研究員（テキサスA&M大学）、大阪体育大学大学院教授などを経て、2005年から早稲田大学スポーツ科学学術院教授。主な著書に、『スポーツイベントの経済学』（平凡社新書、2002）、『スポーツマーケティング』（大修館書店、2008）、『スポーツ・ヘルスツーリズム』（大修館書店、2009）、『スポーツ産業論第6版』（杏林書院、2015）、『スポーツ都市戦略』（2016年度不動産協会賞受賞）など。日本スポーツマネジメント学会会長、Jリーグ理事等を歴任。2008年大阪五輪招致では招致委員会委員。2016年東京五輪招致ではJOCオリンピック招致推進プロジェクトに所属する。現在は、一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構会長、観光庁「スノーリゾート地域の活性化推進会議」議長、スポーツ庁「スポーツツーリズム需要拡大のための官民連携協議会」座長を務める。

お申込み・お問合せ 「第3回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」運営事務局

お申込みURL: <http://sporttourism.or.jp/sport-culture-tourism.html>

※シンポジウム・ワークショップは、事前登録制となっております。お申込みサイトよりお申込みください。（入場料無料、申込み先着順）



スポーツ文化ツーリズムアワード2018 受賞取組発表

2016年度から始まった「スポーツ文化ツーリズムアワード」。2018年度は、全国の応募の中からマイスター部門・チャレンジ部門 入賞の計5団体を表彰いたします。



〔マイスター部門 入賞〕

国際スポーツ雪かき選手権
（一般社団法人日本スポーツ雪かき連盟）



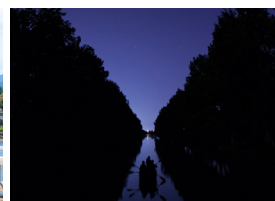
〔マイスター部門 入賞〕

カヤックで農業用水路を下る！
「イデベンチャー」
（NPO法人きらり水源村）



〔マイスター部門 入賞〕

地域の魅力・文化を引き出し
サイクルツーリズムで通年誘客を
実現するツール・ド・ニッポン
（一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン）



〔チャレンジ部門 入賞〕

十勝ナイトリバークルージング
（株式会社サムライブロデュース）



〔チャレンジ部門 入賞〕

“世界一自由な空へ
つばさに乗って行こう
南陽は空もバリアフリー
空飛ぶ車椅子体験”
（一般社団法人
山形バリアフリー観光ツアーセンター）